

## 5 「平成8年度生まれの者」と「昭和41年度生まれの者」（親世代）の年間発育量の比較

平成26年度調査で「平成8年度生まれの者」と、30年前の昭和59年度調査で「昭和41年度生まれの者」（親世代）について、6歳から17歳までの各年齢間における身長、体重の年間発育量を比較すると、以下のとおりになります。

### (1) 身長

身長の年間発育量について「平成8年度生まれの者」と親世代とを比較すると、最大の年間発育量を示す時期は、男子では両世代とも11歳～12歳で、「平成8年度生まれの者」は7.9cm、親世代は7.5cmとなっています。女子では、「平成8年度生まれの者」が9歳～10歳で7.2cm、親世代は10歳～11歳で7.8cmになっています。

最大の年間発育量を示す時期は、男子では、両世代とも同じ時期となっています。女子では「平成8年度生まれの者」が親世代より早い時期となっています。

(図11、図12、表8)

図11 平成8年度生まれの者と昭和41年度生まれの者(親世代)の年間発育量(身長・男子)

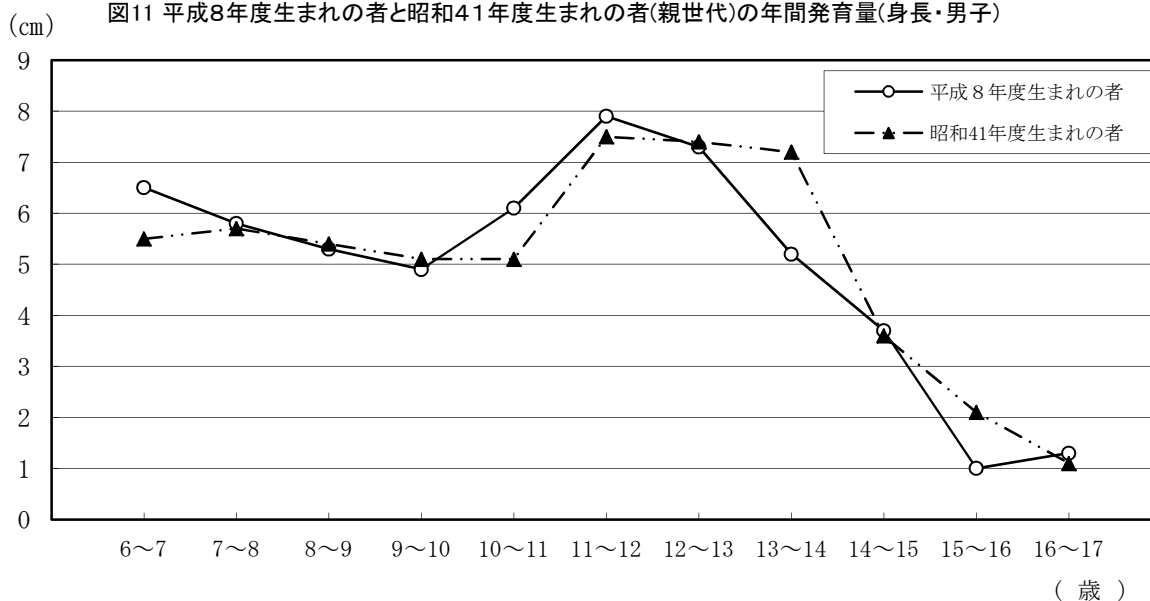
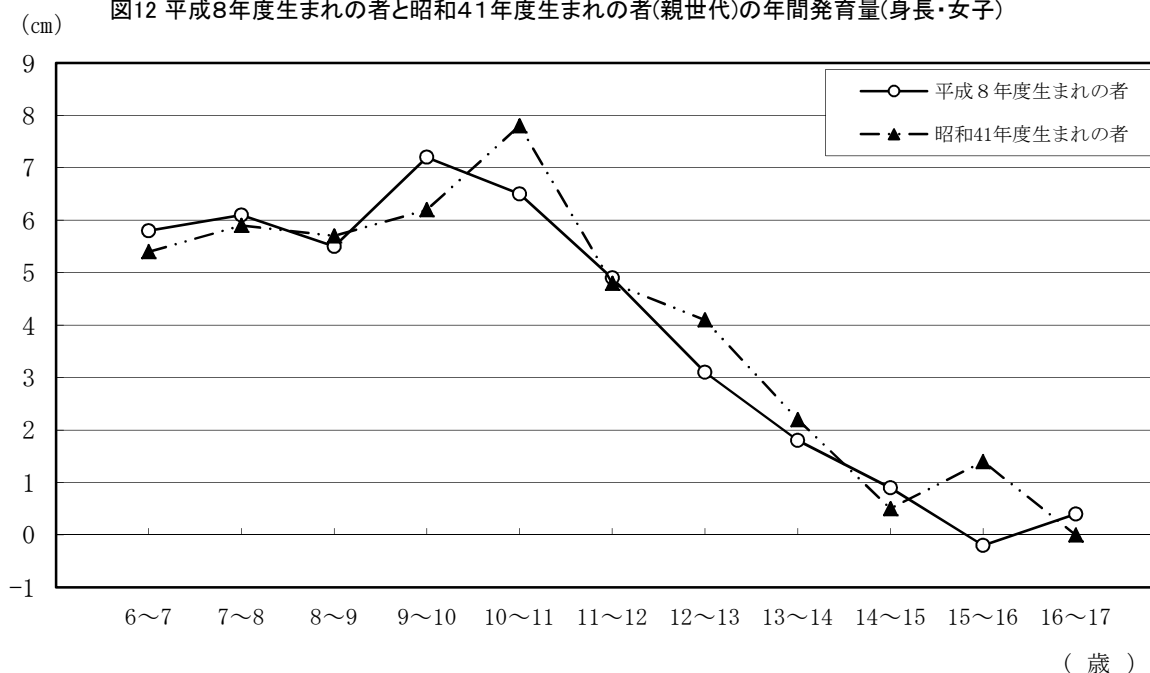


図12 平成8年度生まれの者と昭和41年度生まれの者(親世代)の年間発育量(身長・女子)

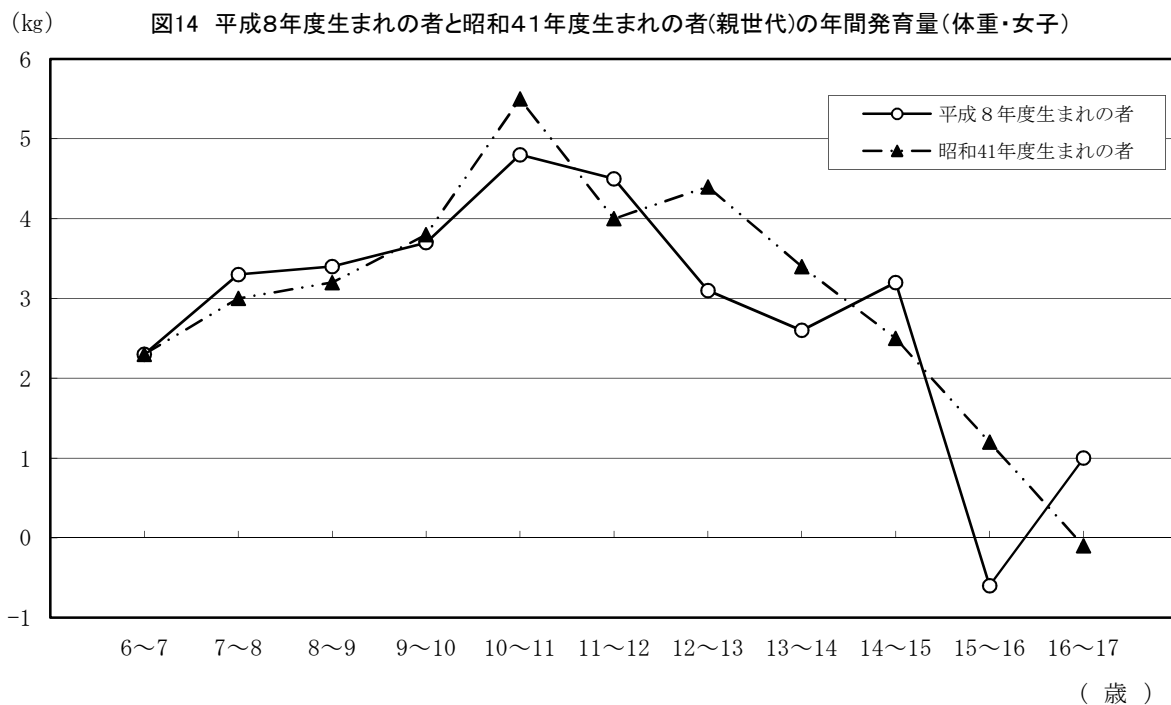
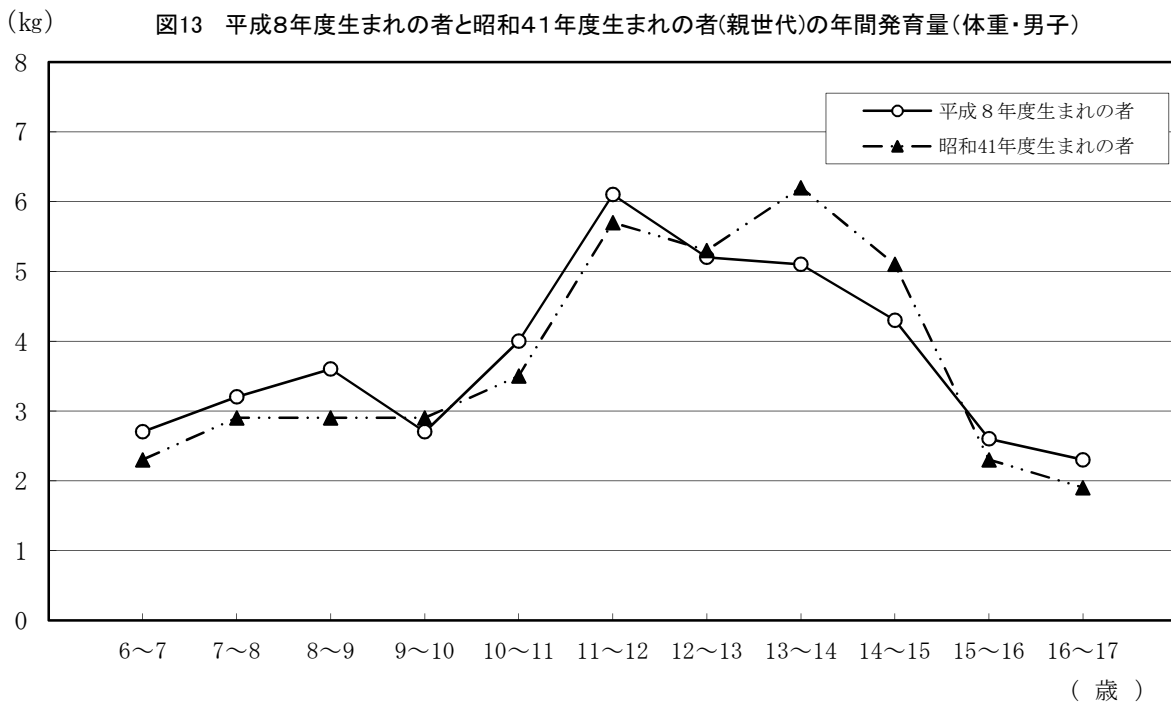


## (2) 体重

体重の年間発育量について「平成8年度生まれの者」と親世代とを比較すると、最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「平成8年度生まれの者」が11歳～12歳で6.1kg、親世代は13歳～14歳で6.2kgになっています。女子では両世代とも10歳～11歳で、平成8年度生まれの者が4.8kg、親世代は5.5kgになっています。

最大の年間発育量を示す時期は、男子では「平成8年度生まれの者」が親世代より早い時期となっています。女子では、両世代とも同じ時期となっています。

(図13、図14、表8)



**(3) 11年間(小1～高3)の総発育量の比較**

身長の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「平成8年度生まれの者」が親世代よりも男子は0.7cm、女子は2.0cm小さくなっています。

身長の発育量を小学校の時期(6歳から12歳までの時期)と中学校・高等学校の時期(12歳から17歳までの時期)とに分けてみると、男子の発育量は、小学校の時期は「平成8年度生まれの者」の方が大きく、中学校・高等学校の時期は親世代の方が大きくなっています。女子の発育量も、小学校は「平成8年度生まれの者」の方が大きく、中学校・高等学校の時期は親世代の方が大きくなっています。

また、体重の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「平成8年度生まれの者」が親世代よりも男子では0.8kg大きくなっています。女子では1.9kg小さくなっています。

体重の発育量を小学校の時期と中学校・高等学校の時期とに分けてみると、男子の発育量は、小学校の時期は「平成8年度生まれの者」の方が大きく、中学校・高等学校の時期は親世代の方が大きくなっています。女子の発育量も、小学校の時期は「平成8年度生まれの者」の方が大きく、中学校・高等学校の時期は親世代の方が大きくなっています。

(表8)

**表8 「平成8年度生まれの者」と「昭和41年度生まれの者」(親世代)の年間発育量**

性別	年齢区分	身長(cm)				体重(kg)			
		平成8年度生まれの者		昭和41年度生まれの者		平成8年度生まれの者		昭和41年度生まれの者	
		年間発育量	計	年間発育量	計	年間発育量	計	年間発育量	計
男 子	6歳(小1)～7歳(小2)	6.5		5.5		2.7		2.3	
	7歳(小2)～8歳(小3)	5.8		5.7		3.2		2.9	
	8歳(小3)～9歳(小4)	5.3	36.5	5.4	34.3	3.6	22.3	2.9	20.2
	9歳(小4)～10歳(小5)	4.9		5.1		2.7		2.9	
	10歳(小5)～11歳(小6)	6.1		5.1		4.0		3.5	
	11歳(小6)～12歳(中1)	7.9		7.5		6.1		5.7	
	12歳(中1)～13歳(中2)	7.3		7.4		5.2		5.3	
	13歳(中2)～14歳(中3)	5.2		7.2		5.1		6.2	
	14歳(中3)～15歳(高1)	3.7	18.5	3.6	21.4	4.3	19.5	5.1	20.8
	15歳(高1)～16歳(高2)	1.0		2.1		2.6		2.3	
	16歳(高2)～17歳(高3)	1.3		1.1		2.3		1.9	
11年間の総発育量		55.0		55.7		41.8		41.0	
年間発育量の最も大きい年齢		11歳～12歳		11歳～12歳		11歳～12歳		13歳～14歳	
女 子	6歳(小1)～7歳(小2)	5.8		5.4		2.3		2.3	
	7歳(小2)～8歳(小3)	6.1		5.9		3.3		3.0	
	8歳(小3)～9歳(小4)	5.5	36.0	5.7	35.8	3.4	22.0	3.2	21.8
	9歳(小4)～10歳(小5)	7.2		6.2		3.7		3.8	
	10歳(小5)～11歳(小6)	6.5		7.8		4.8		5.5	
	11歳(小6)～12歳(中1)	4.9		4.8		4.5		4.0	
	12歳(中1)～13歳(中2)	3.1		4.1		3.1		4.4	
	13歳(中2)～14歳(中3)	1.8		2.2		2.6		3.4	
	14歳(中3)～15歳(高1)	0.9	6.0	0.5	8.2	3.2	9.3	2.5	11.4
	15歳(高1)～16歳(高2)	△0.2		1.4		△0.6		1.2	
	16歳(高2)～17歳(高3)	0.4		0.0		1.0		△0.1	
11年間の総発育量		42.0		44.0		31.3		33.2	
年間発育量の最も大きい年齢		9歳～10歳		10歳～11歳		10歳～11歳		10歳～11歳	

(注) ・年間発育量は、たとえば平成8年度生まれの者の「6～7歳」の年間発育量は、平成16年度調査の7歳の体格から平成15年度調査の6歳の体格を引いたものです。

・11年間の総発育量は、6歳から17歳になるまでの発育量の合計です。

・平成8年度生まれの者とは、平成8年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた者で、平成15年度調査の6歳、平成26年度調査の17歳です。

・昭和41年度生まれの者とは、昭和41年4月2日から昭和42年4月1日までに生まれた者で、昭和48年度調査の6歳、昭和59年度調査の17歳です。